

まちづくりの基本目標

川崎の特徴や長所を活かし、持続型社会の実現に貢献する

協働と協調をもとに、いきいきとすこやかに暮らせるまちをつくる

自治と分権を進め、愛着と誇りを共有できるまちをつくる

基本政策の枠組み

施策体系イメージ

生活環境を守る

環境配慮と循環型のしくみをつくる

緑を守り、育てる

農を興し、親しむ

憩いとうるおいをつくり出す

基本政策

「環境を守り自然と調和したまちづくり」

今後取組むべきと考えられる主な課題

地球環境に配慮した取組(地球温暖化防止等)

廃棄物減量化、リサイクル

資源循環

産業分野における環境貢献の推進

緑の保全、創出、育成

都市農地の保全と市民が農に親しむしくみづくり

多摩川や臨海部を活かした水と親しむ取組

基本的視点反映のポイント

環境配慮を基調とする基本的な価値観に基づく施策を展開する

環境を守るために市民や企業、行政がそれぞれ主体的に、責任ある行動を進める

生活にうるおいをもたらす環境を大切に、緑を守り、育て、親しみ、憩いの場を確保する

政策に反映すべき基本的視点

新たな時代にふさわしい価値観の創造と先駆的な取組を進める

首都圏の好位置にある川崎としての個性を活かす

相互信頼に基づき自立と自己決定を尊重する

市民が実感できる効果的な政策を経営的視点に立って創造する

事例

「政策に反映すべき基本的視点」に基づく施策の転換例

産業分野における環境貢献の推進と地球環境に配慮した取組  
～環境と産業の調和へ～

- 企業等が公害対策に取組み大きな成果をあげてきた経験を活かす
- 首都圏の好位置に立地するメリットを活かす
- 「国際環境都市・川崎」を世界へ向けて発信する

ごみ減量化とリサイクルの推進  
～「適正処理」から「減量化・リサイクルの推進」へ～

- ごみをつくらぬ社会の構築
- やむを得ず出たごみのリサイクルの推進
- 市民・事業者・行政の3者の協働による取組

緑の保全と創出、育成  
～市民・事業者・行政の協働～

- 市民・事業者・行政の3者の協働による取組
- 市民が実感できる戦略的な緑の保全と創出
- 市民主体による緑の維持管理への展開

施策展開のイメージ

環境と経済の好循環のまちづくりに向けて

- UNEPとの協調連携による「環境配慮型産業革命」の世界への発信
- 国際環境特区構想の推進
- アジア起業家村構想の推進

持続可能な循環型社会の構築に向けて

- 市民・事業者・行政の社会的責任に基づく減量化に向けた取組
- リサイクルの取組の拡充
- 環境関連産業との連携

うるおいとやすらぎを醸しだすまちづくりに向けて

- 優先順位付けによる緑地保全施策の取組
- 「目に見える」地域での重点的な緑化の取組
- 地域による里山ボランティアや公園等の維持管理の推進